

鷗外と子どもたち

おご、まより、あんぬ、るい
於菟、茉莉、杏奴、類が語る
パッパ

三男二女に恵まれた森鷗外は子煩悩でした。次男・不律（1907～1908）は幼いうちに世を去りますが、長男・於菟（1890～1967）、長女・茉莉（1903～1997）、次女・杏奴（1909～1998）、三男・類（1911～1991）は、鷗外の深い愛情に包まれて成長しました。1922（大正11）年に鷗外が60歳で死去した後、4人は父・鷗外への思いを胸に、自らの人生を歩んでいきます。昭和に入ると、鷗外に関する随筆の執筆依頼が舞い込むようになり、4人はそれぞれの言葉で、文学者でも陸軍軍医でもない、愛する「パッパ」（家族が呼んだ愛称を語り始めます。また、環境の変化やアジア太平洋戦争を乗り越え、鷗外遺品・愛用品、日記、原稿、書簡などの）の継承に努めます。1962（昭和37）年に於菟自らが、2006（平成18）年には杏奴のご遺族が文京区に寄贈した遺品の数々は、当館所蔵資料の核となりました。

本展では、子どもたちの随筆に見える父親としての鷗外を紹介いたします。そして、於菟と杏奴から受け継いだ館蔵の鷗外遺品を、子どもたちの回想と共に展覧します。於菟、茉莉、杏奴、類が語り伝えてきた「パッパ」への思いをご覧ください。



於菟結婚式集合写真 大正7年1月撮影
前列右より鷗外(56歳)、類(7歳)、志げ(鷗外の妻)、杏奴(9歳)、富貴(於菟の妻)、於菟(28歳)。
後列左より4人目に茉莉(15歳)。

【上から】
於菟自筆原稿
『砂に書かれた記録』
昭和40年発表
茉莉自筆原稿
『ドッキリチャンネル
(シルレルとウンテル・
デン・リンデン)』
昭和57年発表
類自筆原稿
『ビート・ル・牛の困惑』
昭和63年発表
杏奴短歌草稿、
鷗外添削 大正期



於菟『木芙蓉』時潮社 昭和11年



茉莉『父の帽子』筑摩書房 昭和32年



杏奴『晩年の父』岩波書店 昭和11年



類『鷗外の子供たち あとに残されたものの記録』光文社 昭和31年

展示関連講演会

「父と子」

父の子どもへの溢れるばかりの愛は、どのようなかたちとなってあらわれるのか。その愛のゆくえを、お話しいただきます。

講師 太田治子氏（作家）
日時 2026年2月22日（日）14時～15時30分
会場 文京区立森鷗外記念館 2階講座室
定員 50名（事前申込制）
料金 無料（参加票と本展観覧券（半券可）が必要）
申込締切 2月10日（火）必着

〈講演会申込方法〉

往復はがき 往信に「2月22日講演会」・氏名（ふりがな）・住所・電話番号を、返信用には、住所・氏名を明記の上、〒113-0022 東京都文京区千駄木1-23-4 文京区立森鷗外記念館「展示関連講演会」受付係までご応募ください。

Eメール 件名に「2月22日講演会」、本文に氏名（ふりがな）・電話番号・Eメールを明記の上、
bmek-event@moriogai-kinenkan.jp にご応募ください。

※申し込みは、1通につき1名様（お一人様1通まで）、応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。

※ご不明な点等ございましたら、文京区立森鷗外記念館にお問い合わせください。

ギャラリートーク

当館学芸員が展示解説を行います。

日時 2月11日（水・祝）、3月11日（水）
いずれも14時～（30分程度）

※申込不要、当日の展示観覧券が必要です。

2026年1月19日（月）は

鷗外の誕生日

鷗外164回目の誕生日を記念して、当日は無料で展覧会をご覧ください。

特別展 「文の京、坂・名所ものがたり（仮称）」
2026年 4月11日（土）～6月28日（日）

次回展示

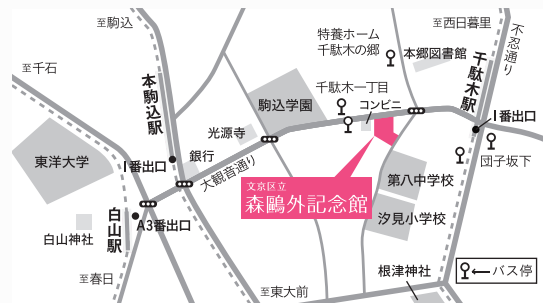
文京区立森鷗外記念館

〒113-0022 東京都文京区千駄木1-23-4 TEL 03-3824-5511
URL <https://moriogai-kinenkan.jp>

X(旧Twitter) @bunkyo_moriogai Instagram @moriogaikinenkan facebook moriogai.kinenkan

モリネカフェ

10:30～17:30（ラストオーダー 17:00）
※2/27（金）メンテナンス休業



電車・東京メトロ千代田線「千駄木」駅 1番出口 徒歩5分
・東京メトロ南北線「本駒込」駅 1番出口 徒歩10分
・都営三田線「白山」駅 A3番出口 徒歩15分
・JR線・京成線「日暮里」駅西口 徒歩15分

バス・都営バス草63番系統「千駄木一丁目」下車 徒歩1分
・都営バス上58番系統「団子坂下」下車 徒歩5分
・Bーぐる千駄木・駒込ルート「19特養ホーム千駄木の郷」下車 徒歩5分

一般の駐車場がございませんので、公共交通機関をご利用ください。

